

令和5年度 人権啓発事業（予定含む）

実施組織	事業名	事業内容	実施状況
中野区	人権擁護委員の日・パネル展	人権擁護委員の日（6月1日）に中野区役所1階ロビーにて、中野区人権擁護委員の活動を紹介するパネル展を実施。	予定どおり実施した
	人権啓発講演会	人権啓発を目的とし講演会を実施する。今年度は明治大学横田ゼミ主催の「ダイバーシティフェス2023」内で講演会を実施する。予定しているプログラムは多様性に関する講演会と中野区の活動団体が登壇するパネルディスカッション。	写真家ヨシダナギ氏の講演 多様性理解のために、言葉も通じない人と、写真を撮影できるまでの意思疎通の現場から、多様性理解のためのヒントを感じてもらうことをテーマとした。
	人権週間パネル展	人権週間（毎年12月4日～12月10日）での人権啓発事業。中野駅ガード下のスペースでパネル展を実施する。パネルは人権問題・課題の周知や中野区の関連事業（障がい、福祉、子供、教育、高齢者、等）の紹介を行う。	駅ガード下スペースが、区民優先のため、本年度は例年どおり確保できなかったため、障がい、福祉、子供、教育、高齢者、等のほかの部署との共同はできず、人権問題に関するパネルを中心に1ケースで実施した。
	人権街頭啓発	人権週間（毎年12月4日～12月10日）での人権啓発事業。中野区人権擁護委員と共に中野駅北口ロータリーで啓発物品を配り街頭啓発を行う。	予定どおり実施した
	性的マイノリティ区民講座	性的マイノリティへの理解促進を目的とし、外部講師を招いての区民講座を開催する。講師は性的マイノリティ当事者を予定しており、講師自らの実体験や思いを語って頂く。	同性カップルが記念写真を撮影しようとしたが、理解が得られなかった事例から制作された短編映画を上映し、製作者からの解説で、性的マイノリティへの社会の理解状況を知る企画として「誰もが幸せを感じられる社会へ」と題して、3月10日に実施する。
	中野にじいる相談（性的マイノリティ区民相談）	相談者の希望に合わせて相談場所・時間が選択できる、性的マイノリティの専門相談。当事者だけではなく家族や友人も利用可能。利便性向上のため、昨年より区役所以外での相談場所の確保、電話相談への対応を開始した。本事業は特定非営利活動法人パープル・ハンズに委託している。	今年度から、隔月で対面相談以外にも電話相談、また、相談日を都合に合わせて選べるようにしたが、現時点において、申し込みは数件あったものの、現実の相談実績がゼロ件となっている。相談の委託先と相談し、次年度には、1対1ではなく、他の自治体でも実施しているサロン形式とし、心の距離感を減らす工夫を予定している。

令和5年度 人権啓発事業（予定含む）

実施組織	事業名	事業内容	実施状況
人権擁護委員	特設人権相談	中野区民、中野区在勤者・在学者を対象とし、毎月第1火曜日、午後1時～4時に区役所1階 専門相談室で行っている人権相談。相談員は中野区人権擁護委員。	現時点で、相談者は、数件である。
	人権の花	小学校の児童が、協力し合って花を栽培し、その成果を多くの人びとに鑑賞してもらうこと、栽培する間に行う講話などを通じて、思いやりの心を育み、環境に対する理解を深め、豊かな人権感覚を身につけることを目的に実施。 【令和5年度参加校：令和小、谷戸小、中野本郷小、武蔵台小】	参加校でそれぞれ育ててもらった成果を模造紙に作成してもらっている。今年度は例年通り確保できず、短期間ではあったが、例年どおりガード下ギャラリーで展示した。
	人権作文	中学生が、人権問題に関する作文を書くことによって、人権尊重の重要性、必要性についての理解を深めるとともに、豊かな人権感覚を身に付けることを目的に実施。 【令和5年度参加校：中野区立中学校全校+東京都立富士高等学校附属中学校】	中野区内10校の協力により、1542名の参加を得ました。中野地区での東京都大会への4作品を選出するとともに、中野地区で人権擁護委員賞10作品について、表彰状などを贈呈しました。
	人権メッセージ	子どもたちに人権尊重の精神と自由に意見を表明する権利を理解してもらうことを目的に実施。代表校の児童が人権に関するメッセージを発表する。【令和5年度中野区代表：武蔵台小学校】	93名の児童がメッセージに参加しました。

参考

12月22日人権教育に関する研究指定校を受けていた明和中学校において、研究発表が行われました。災害避難時や外国人との関係など日常生活における人権課題を題材として、生徒たちがお互いに自らの考えを示しながら考えるなど学習が行われていました。